

月報対象疾患（薬剤耐性菌感染症）発生状況（2020年） 【さいたま市感染症発生動向調査】

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症とペニシリン耐性肺炎球菌感染症について、2020年の定点当たり累積報告数は前年より減少したが、埼玉県に比べて多かった(表1、2)。年齢階級別では、両感染症ともに70歳以上で最も多くの報告数があった(図3)。薬剤耐性緑膿菌感染症については、報告がなかった(表3)。

表1 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症
定点当たり累積報告数

	2018年	2019年	2020年
さいたま市	44.00	64.00	33.00
埼玉県	19.90	18.27	14.55
全国	33.91	33.84	31.19

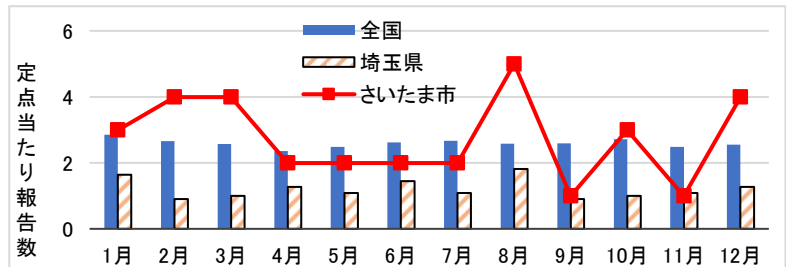


図1 2020年メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症定点当たり報告数

表2 ペニシリン耐性肺炎球菌感染症
定点当たり累積報告数

	2018年	2019年	2020年
さいたま市	23.00	15.00	13.00
埼玉県	6.50	5.00	2.55
全国	3.94	3.65	1.84

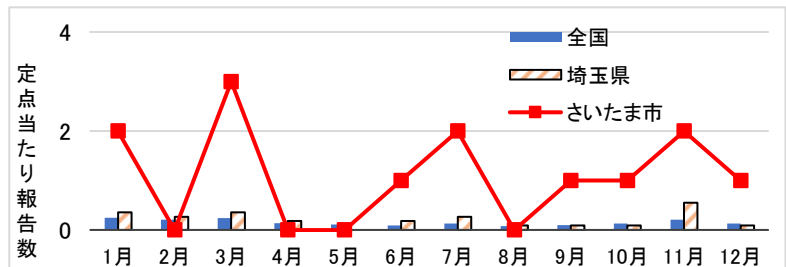


図2 2020年ペニシリン耐性肺炎球菌感染症定点当たり報告数

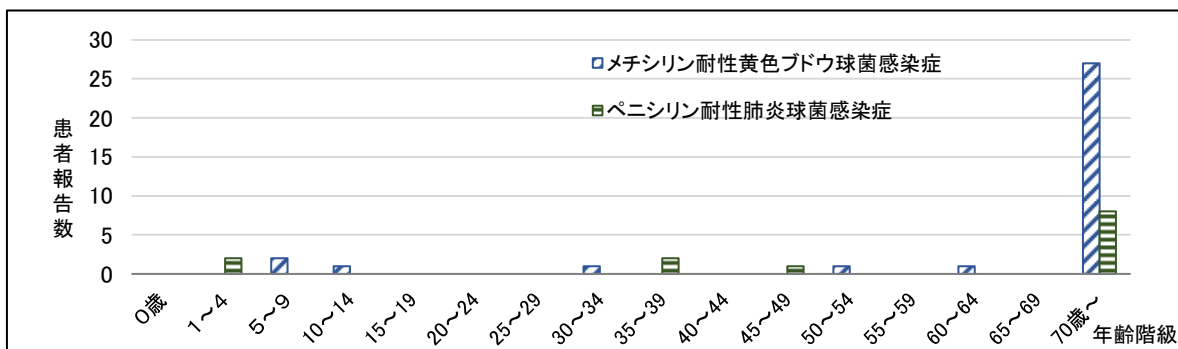


図3 2020年 年齢階級別患者報告数

表3 薬剤耐性緑膿菌感染症
定点当たり累積報告数

	2018年	2019年	2020年
さいたま市	0	0	0
埼玉県	0.10	0.64	0.55
全国	0.25	0.26	0.24

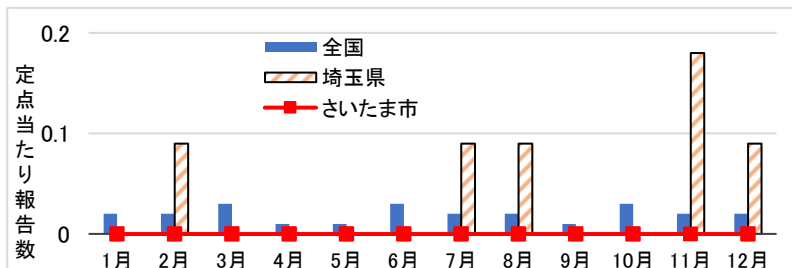


図4 2020年薬剤耐性緑膿菌感染症定点当たり報告数